

事務事業分析シート

No1

事務事業名	フィルムコミッション関連事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	森田美佐世	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	ロケーション施設管理費(54-80-50-01)				
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 19年度 <input type="radio"/> 18年度) <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	15年度	根拠		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 (<input checked="" type="radio"/> 区独自基準)		計画区分	(<input checked="" type="radio"/> 計画) 非計画	
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	映画、ドラマ、CMなどの撮影を区内に誘致し、映像を通して区のイメージアップを図る。				
対象者等	映画、ドラマ、CMなどの製作会社				
内容	区内公共施設や区内での撮影を誘致するために、施設の提供、手続きの利便性向上等支援を行う。 1 旧道灌山中学校校舎3階の一部を映像制作コーディネータに貸付け、ロケ場所として提供 ①貸付場所 荒川区西日暮里5-37-5 旧道灌山中学校 3階一部346.64㎡ ②貸付先 (株)三ツ橋商事 東尾久8-4-4 ③貸付料 月額 223,000円 ④共益費 月額 50,000円 ⑤使用料金 一日 55,000円+コーディネータ料金 ⑥使用時間 午前9時～午後9時 2 ロケに関する相談受付、情報提供、区施設使用に係る連絡調整				
経過	平成13年 3月 道灌山中学校廃校 9月 校舎をACCに無償貸与 平成15年 2月 ACCがロケ場所として提供(映像制作コーディネータに貸付け) 10月 ACCへの無償貸与中止、区が映像制作コーディネータに貸付け 平成17年 4月 公募により、コーディネータの選定 平成18年 6月 貸付け方法の見直し				
必要性	映像を通じた区のイメージアップを図ることができる。				
実施方法	(<input checked="" type="radio"/> 直営) 一部委託 全部委託) (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤) 非常勤 臨時職員)				

		(単位:千円)						
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算・決算額等の推移	予算額					16,166	6,185	1,409
	①決算額(18年度は見込み)					535	570	1,409
	②人件費	/	/	/	/	/	3,062	/
	【事務分担量】(%)	/	/	/	/	/	50	/
	合計(①+②)				0	535	3,632	1,409
	国(特定財源)							
	都(特定財源)							
	その他(特定財源)				3,129	7,958	4,202	6,585
一般財源								
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	旧道灌山中学校利用件数				85	145	76	120
	ロケに関する相談等受付件数							

事務事業分析シート

No2

予算・決算主要項目	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	委託料	ロケ場所調査	0				
	光熱水費	電気料	145	電気料	82	電気料	132
	需用費	建物修繕ほか	8	建物修繕ほか	40	建物修繕ほか	680
	役務費	受水槽清掃	10	受水槽清掃	12	受水槽清掃	12
	委託料	清掃、管理、警備	372	清掃、管理、警備	436	清掃、管理、警備	585

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(22年度)	
①	旧道灌山中学校利用件数	145	76	60		暫定利用(平成20年3月まで)
②	その他の区施設でのロケ件数	40	30	40	40	公園、庁舎等の利用状況
③						

問題点・課題	<p>①撮影の誘致を拡大するためにPRの充実、支援機能の充実が必要である。</p> <p>②区のイメージアップに結びつけるための方策について検討する必要がある。</p>
他区の実況	<p>(実施 2 区 未実施 20 区)</p> <p>台東区フィルムコミッション(平成17年度) 学校施設の提供は、台東区、豊島区が実施 北区は、検討中</p>

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	区施設の使用に関して、関係部課との連携により、利便性を拡大するなど支援機能の充実を図る。	ロケ手続き等の利便性を充実することにより、ロケの誘致件数を拡大できる。
②	クレジットの挿入依頼、ロケに関する区内外へのPR等イメージアップに結びつけるための方策について検討する。	多くの人々にロケの実施をすることにより、区のイメージアップ効果が期待できる。
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	現状の規模を維持しつつ、効果的な実施内容を検討する。

議会質問状況	<p>平成14年三定 [質問]「ロケの街」として売り込むための取り組みについて</p> <p>平成14年二定 [質問]FCの検討について</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート

No1

事務事業名	観光情報提供事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	坂野竜二、久保田賢	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	観光情報提供事業(54-82-33-01)				
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 19年度 <input type="radio"/> 18年度) <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	14年度	根拠		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 <u>区独自基準</u>		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	荒川区の観光情報を区内外に広く提供することによって、区のイメージアップを図るとともに区への来訪者を増やし、地域経済の活性化を図る。				
対象者等	区外の人々及び区への来訪者				
内容	1 観光ガイド(イベントカレンダー)の作成(平成14年度～) 2 産業HPに区内行事のインターネット動画配信(平成14年度～) 3 産業HPに都電荒川線花見どころサイトの開設(平成14年度～) 4 まちあるきマップの作成(平成17年度～) 5 観光ガイド養成講座(平成18年度～)				
経過	平成14年度 観光ガイド(イベントカレンダー)、動画配信、花見どころサイトの開設 平成17年度 まちあるきマップの作成(日暮里地区、南千住地区) 平成18年度 観光ガイド養成講座、まちあるきマップの作成(都電沿線)				
必要性	多様な情報発信により区のイメージアップ、来訪者の増加を図ることができる。				
実施方法	(直営 <u>一部委託</u> 全部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

		(単位:千円)						
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算・決算額等の推移	予算額			2,152	7,192	14,727	2,775	2,316
	①決算額(18年度は見込み)			1,894	2,292	1,276	3,155	2,316
	②人件費						6,033	
	【事務分担量】(%)						70	
	合計(①+②)			1,894	2,292	1,276	9,188	2,316
	国(特定財源)							
	都(特定財源)							
その他(特定財源)								
一般財源			1,894	2,292	1,276	9,188	2,316	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	動画配信			5件	3件	3本	2本	2本
	観光ガイド(イベントカレンダー)			5,000部	8,000部	20,000部	20,000部	20,000部
	まちあるきマップ						116,000部	56,000部
	観光ガイド養成講座							20人

事務事業分析シート

No2

予算・決算主要項目	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	一般需用	イベントカレンダー	399	観光ガイド	399	観光ガイド	400
	委託料	動画配信	877	動画配信	673	動画配信	699
	委託料			観光ガイドマップ	2,083	観光ガイドマップ	1,500
	報償費					観光ガイド養成講座ほ	102
	一般需用					観光ガイド養成講座謝	115

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(22年度)	
標	① 観光ガイド講座修了者数(人)	-	-	20	100	
	② 観光ボランティアガイド実施件数	-	-	2	10	
	③					

問題点・課題	<p>①ニーズに応じて区の魅力や最新の情報を適切に提供していく必要がある。</p> <p>②観光ガイド養成講座修了者をボランティアガイドとして有効活用するしくみづくりが必要である。</p>
他区の実施状況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
①	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	ホームページやパンフ等の充実を始め、多様な手法によりニーズに応じた荒川区の観光情報を提供する。	適時適切な情報発信を行い、区の魅力を多くの人々に伝えることにより、来訪者を増やすことができる。
②	観光ガイド養成講座修了者を活用するしくみをつくり、来訪者にボランティアガイドとして斡旋する。	区民参加の拡大を図るとともに、来訪者に対する受入体制を充実することができる。
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
A	観光振興を図るための基本的な事業であり、拡充の必要がある。

議会質問状況	<p>16年四定 [質問]観光ガイド養成講座を開設。菓子問屋ミュージアムの開設。</p> <p>16年三定 [質問]観光組織づくり。観光スポットを売り込む。</p> <p>16年三定 [質問]コリアンタウンの情報発信。</p> <p>16年一定 [質問]観光振興に学芸員を活用して</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート

No1

事務事業名	荒川ブランドセールスプロモーション事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	小堀 純、久保田賢	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	荒川ブランドセールスプロモーション事業(54-82-50-01)				
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 19年度 <input type="radio"/> 18年度) <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	17年度	根拠		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 <u>区独自基準</u>		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	区内で製造、販売されている荒川区らしい優れた商品について区内外にPRを図ることにより、区のイメージアップ、観光と産業の振興を図る。				
対象者等	商品の製造、販売事業者 区民、区外の人々及び来訪者				
内容	1 商品を紹介する冊子の作成・配布 平成17年度 「荒川のおすすめ品 区民が選んだおみやげ編Part1」(33商品) 平成18年度 伝統工芸品、荒川マイスター製品 2 区報、産業ニュース、ホームページ等で商品の紹介、荒川ショッピングモールで商品を紹介・販売(平成17年度～) 3 区内の商店街の空き店舗を活用し、商品の展示・販売店舗を設置する。また、セールススタッフを設置しPRする。(平成18年度～)				
経過	平成17年11月 「荒川のおすすめ品区民が選んだおみやげ編Part1」(区民から募集、選定委員会で選定) 平成17年12月 あらかわ区報、産業ニュース掲載 平成18年 3月 紹介冊子作成				
必要性					
実施方法	(直営 <input checked="" type="radio"/> 部委託 全部委託) (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員) 1 荒川ブランド構築に伴う商品調査等委託 1,302,000円(うち消費税62,000円) 2 荒川ブランド冊子作成委託 992,250円(うち消費税47,250円)				

		(単位:千円)						
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算・決算額等の推移	予算額						3,000	29,914
	①決算額(18年度は見込み)						2,771	29,914
	②人件費						4,310	
	【事務分担量】(%)						50	
	合計(①+②)						7,081	29,914
	国(特定財源)							
	都(特定財源)							
	その他(特定財源)							
	一般財源						7,081	29,914
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	商品紹介冊子作成(部)						10,000	20,000
	ブランド販売店舗							3
	セールススタッフ(人)							1

事務事業分析シート

No2

予算・決算主要項目	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	報償費			区民の会報償費	132		
	一般需用			応募者記念品	345		
	委託料			カタログ印刷	992	カタログ印刷	3,714
	委託料			ブランド構築調査	1,302	セールススタッフ委託料	1,200
						展示販売委託	7,360
						販売店賃料	8,640
						販売店改修費	9,000

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(22年度)	
①	展示・販売店舗来客数(人)	—	—	1,000	5,000	18年度は、6ヶ月
②	商品紹介冊子配布部数	—	10,000	20,000	20,000	
③						

問題点・課題	①PR、展示・販売の場所や機会の拡大を図る必要がある。 ②展示・販売店舗は、実施したうえでの課題等を整理し、実施方法の改善にフィードバックしていく必要がある。
他区の実況	(実施 4 区 未実施 18 区) 練馬区(ネリコシ):平成14年度 北区(みんなが選んだ北区の名品):平成15年度 板橋区(区民が選ぶ板橋のいっぴん):平成15年度 豊島区(区民が選ぶ名品・名産70選):平成14年度

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	区内外のイベント会場、来客施設等での展示、販売を拡大する。	より多くの人に荒川区の優れた商品を知ってもらうことにより、区のイメージアップと観光振興、産業振興を図ることができる。
②		
③		

施策評価結果(優先度)	優先度についての説明、所属長意見等
B	区の観光施策の目玉的事業であり、優先度は高い。

議会質問状況	●17二定 [質問]姉妹友好都市交流における観光振興の視点について。 ●17三定 [質問]観光情報の効果的な発信について。
--------	------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート

No1

事務事業名	荒川区観光大使PR事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	日下 正秀	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	荒川区観光大使PR事業(54-82-60-01)				
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 19年度 <input type="radio"/> 18年度) <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	18年度	根拠		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 <u>区独自基準</u>		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人を「荒川区観光大使」として任命し、幅広い人脈やネットワークを活かして、荒川区のPRとイメージアップを図る。				
対象者等	荒川区在住又は出身者で、区に愛着を持ち、区の魅力を積極的に紹介していただける著名人				
内容	実施内容 1 それぞれの立場において機会あるごとに荒川区のPRをしてもらう。 2 荒川区観光大使としての名刺を作成する。 3 区長と観光大使との対談を実施し、対談内容をケーブルテレビやホームページ等で情報発信する。				
経過					
必要性	効果的な区のイメージアップ				
実施方法	<input checked="" type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託) (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員)				

		(単位:千円)						
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算・決算額等の推移	予算額						0	1,379
	①決算額(18年度は見込み)						0	1,379
	②人件費	/	/	/	/	/	/	/
	【事務分担量】(%)	/	/	/	/	/	/	/
	合計(①+②)	0	0	0	0	0	0	1,379
	国(特定財源)							
	都(特定財源)							
その他(特定財源)								
一般財源		0	0	0	0	0	0	1,379
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	観光大使任命(人)							3
	区長との対談(回)							3
	PR活動							随時

事務事業分析シート

No2

予算・決算 主要項目	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	報償費					対談報償費	156
	旅費					費用弁償	3
	一般需用					観光PR名刺印刷	500

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①						
②						
③						

問題点・課題	
他区の実施状況	(実施 1 区 未実施 21 区) 中央区(ミス中央)3人、台東区18年度募集予定

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①		
②		
③		

施策評価結果(優先度)	優先度についての説明、所属長意見等
B	当初の規模で実施する。

議会質問状況	
--------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	産業観光推進事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	久保田賢	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	産業観光推進事業(54-85-10-01)				
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 19年度 <input type="radio"/> 18年度) <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	14年度	根拠		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 <u>区独自基準</u>		計画区分	<u>計画</u> 非計画	
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	荒川区の産業技術や伝統工芸技術などを、広く区内外に周知し、荒川区の産業観光を推進する。				
対象者等	区民及び区外の人々				
内容	1 荒川区産業展やあらかわの伝統工芸展において、荒川マイスター製品や伝統工芸品等をPRする。 2 都庁や成田空港など観光客の集まる場所において、荒川マイスター製品や伝統工芸品等をPRする。 あらかわの伝統技術展、荒川区産業展(平成15年度～) 荒川区産業展、都庁観光情報センター、TCK(平成17年度～) 荒川遊園ふれあいハウス(平成18年度～)				
経過					
必要性	区内観光情報を区外に発信し、区のイメージアップを図る。				
実施方法	<input checked="" type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
予算額			563	900	900	900	900	
①決算額(18年度は見込み)			563	506	467	595		
②人件費						3,686		
【事務分担当量】(%)						50		
合計(①+②)	0	0	563	506	467	4,281	900	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	0	0	563	506	467	4,281	900	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	PR事業実施件数				2	2	4	5

事務事業分析シート

No2

予算・決算主要項目	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	委託料	伝統技術展	467	伝統技術展 都庁PRコーナー	473 122	伝統技術展	900

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	イベント会場での実演・展示実施件数	2	4	5	5	
②						
③						

問題点・課題	①観光振興、産業振興に結びつく効果的なPR方法を検討、実施する必要がある。
他区の実施状況	(実施 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	区内外のイベント会場、来客施設等での展示、販売を拡大する。	より多くの人に荒川区の優れた商品を知ってもらうことにより、区のイメージアップと観光振興、産業振興を図ることができる。
②		
③		

施策評価結果(優先度)	優先度についての説明、所属長意見等
C	現状の規模で実施する。

議会質問状況	17年二定 [質問]産業観光の視点で、姉妹友好都市交流をするべき。
--------	-----------------------------------

事務事業分析シート

No1

事務事業名	観光案内標識設置事業	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	坂野 竜二	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	観光案内標識設置事業(54-85-20-01)				
事務事業の種類	○新規事業 (○19年度 ○18年度)		○建設事業	●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	16年度	根拠	東京都観光案内標識設置補助金要綱	
終期設定	●有 ○無	18年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	(計画) 非計画
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	観光客の多様なニーズに対応できる受入環境の整備促進のため、外国人旅行者にも配慮した外国語(英語、中国語、ハングル)標記の観光案内標識を整備する。				
対象者等	荒川区への来訪者				
内容	東京都観光案内標識設置補助金要綱に基づく、補助事業(10/10) 観光案内標識の整備 平成17年度 日暮里地区 4基 平成18年度 南千住地区 4基				
経過	平成16年度 メトロ三ノ輪駅周辺に設置を予定(1基)(東京都、国交省国道事務所、台東区と調整がつかず中止) 平成17年度 日暮里地区4基				
必要性	外国人観光客を含む来訪者の受け入れ体制の充実				
実施方法	(直営 一部委託 <u>全部委託</u>) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 地図データ作成 (株)セイコー社 看板作成 (株)大蔵製作所				

		(単位:千円)						
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算・決算額等の推移	予算額					2,000	6,000	6,000
	①決算額(18年度は見込み)					0	4,809	6,000
	②人件費						3,448	
	【事務分担量】(%)						40	
	合計(①+②)	0	0	0	0	0	8,257	6,000
	国(特定財源)							
	都(特定財源)						4,809	6,000
	その他(特定財源)							
	一般財源					0	3,448	0
	実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
日暮里地区							4	
南千住地区								4

事務事業分析シート

No2

予算・決算主要項目	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	委託料		0	案内標識データ作成	1,134	案内標識データ作成	1,200
	委託料			案内標識看板作成	3,675	案内標識看板作成	4,800

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(22年度)	
①	設置標識数	—	4基	4基	—	東京都補助事業のため終了
②						
③						

問題点・課題	
他区の実施状況	(実施 5 区 未実施 17 区) 台東区、豊島区、中央区、葛飾区(16年度)、千代田区(17年度)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①		
②		
③		

施策評価結果(優先度)	優先度についての説明、所属長意見等
B	都補助金(制限事業)を受けられる範囲で実施する。

議会質問状況	
--------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	その他観光イベント助成	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	坂野竜二、森田美佐世	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	その他観光イベント助成(54-85-40-01)				
事務事業の種類	○新規事業 (○19年度 ○18年度)		○建設事業	●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	14年度	根拠	荒川区観光振興事業補助金交付要綱	
終期設定	○有 ●無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	○計画 非計画
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	区民の開催する観光事業を支援し、区民とともに観光資源を育成する。				
対象者等	区民主体の民間団体				
内容	区民主体の観光振興事業補助 平成14年度 シダレザクラ植樹 100万円 都電沿線文化祭inあらかわ遊園 40万円、フラッグ53万円 シダレザクラ祭り 10万円 平成15年度 シダレザクラ祭り 635万円(16年3月の提灯含む) 都電散歩～ワドキ自然体験～ 5万円 平成16年度 シダレザクラ祭り 145万円 平成17年度 シダレザクラ祭り 127万円 ダイヤモンド富士(5万円) 平成18年度 シダレザクラ祭り ダイヤモンド富士				
経過	平成14年度 シダレザクラ植樹 (4月) 都電沿線文化祭inあらかわ遊園 (11月) シダレザクラ祭り(3月) 平成15年度 都電散歩＝ワドキ自然体験(3月) 平成16年度 シダレザクラ祭り(4月) 荒川よさこいプレイイベント(4月) 都電でトーク(都電沿線サミット)(10月)中止 平成17年度 シダレザクラ祭り(4月) ダイヤモンド富士(11月、1月) 平成18年度 シダレザクラ祭り(4月) ホテルの夕べ(7月)				
必要性	地域が主体となって、実施している事業を支援し、定着させる。				
実施方法	(直営 一部委託 全部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)				

予算・決算額等の推移	(単位:千円)							
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
予算額			2,030	1,000	3,762	2,450	2,450	
①決算額(18年度は見込み)			2,030	698	1,452	1,638	2,450	
②人件費						3,301		
【事務分担量】%						60		
合計(①+②)	0	0	2,030	698	1,452	4,939	2,450	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源					1,452	4,939	2,450	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	シダレザクラ祭り参加者					500人	3000人	5000人
	都電イベント			実施	実施			

事務事業分析シート

No2

予算・決算 主要項目	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	補助金	シダレザクラ祭り補助金	1,452	シダレザクラ祭り補助金	1,588	シダレザクラ祭り補助金	2,200
	補助金	荒川よさこい補助金	0	事業補助金(ダイヤモン)	50	事業補助金	250

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	観光事業補助金申請件数	—	1	5	5	
②	シダレザクラ祭り来客数(人)	500	3,000	5,000	5,000	
③						

問題点・課題	
他区の実施状況	(実施 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①		
②		
③		

施策評価結果(優先度)	優先度についての説明、所属長意見等
B	観光振興を図る上で、区民・事業者の自主的活動の支援を進める必要がある。

議会質問状況	<p>平成16年一定 〔質問〕沿線商店街と連携した都電乗客サービスの提供と路面電車サミットの開催について</p> <p>平成14年三定 〔質問〕都電沿線の文化祭における区及び地元商店街の関わり方について</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート

No1

事務事業名	観光振興懇談会運営費	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	小堀 純、日下正秀	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード	観光振興懇談会運営費(54-88-50-01)				
事務事業の種類	○新規事業 (○19年度 ○18年度)		○建設事業	●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	18年度	根拠法令等	荒川区観光振興懇談会設置要綱	
終期設定	●有○無	18年度			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	(計画) 非計画
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	観光に関する様々な分野の有識者で構成する懇談会において、区の観光振興の目指すべき方向とその実現のために必要な具体的施策等について検討いただき、その提言に基づき、区の観光振興施策の効果的な推進を図る。				
対象者等	学識経験者、観光関係団体、観光・交通事業者、産業団体関係者等				
内容	懇談事項 1 区内の観光及び観光資源の現状 2 これまでの観光振興施策 3 他自治体における事例等の調査研究 4 調査機関による基礎調査の分析・検討 5 観光振興施策の今後の方向性及び具体的施策 観光基礎調査 懇談会での検討の基礎資料とするために、区内の観光及び観光資源の実態、観光に関するニーズ等について、専門調査機関による調査を実施する。				
経過					
必要性	より多くの来訪者を呼び込むために新たな観光施策の検討が必要である。				
実施方法	((直営) (一部委託) 全部委託) (直営の場合 (常勤) 非常勤 臨時職員)				

		(単位:千円)						
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算・決算額等の推移	予算額						0	8,357
	①決算額(18年度は見込み)							8,357
	②人件費						0	
	【事務分担量】(%)						0	
	合計(①+②)	0	0	0	0	0	0	8,357
	国(特定財源)							
	都(特定財源)							
その他(特定財源)								
	一般財源	0	0	0	0	0	0	8,357
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	観光基礎調査							実施
	懇談会							5回

事務事業分析シート

No2

予算・決算 主要項目	節・細節	平成16年度(決算)		平成17年度(決算)		平成18年度(予算)	
		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)
	報償費					委員報酬	1,287
	旅費					視察旅費等	1,645
	食糧費					賄い	116
	一般需用					消耗品	100
	役務費					テープ反訳	175
	委託料					基礎調査委託	5,000
	使用料					会場使用料	34

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	開催回数	-	-	5回		
②						
③						

問題点・課題	①懇談会の報告を区の施策に反映させる必要がある。
他区の実施状況	(実施 区 未実施 17 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	懇談会の報告を踏まえ、区の観光施策の方向性と新たに取り組むべき事業を明確にし、直ちに実施する必要がある事業に着手する。	区の観光振興の方向性を踏まえ中長期的な対応が必要な事業も含め、体系的、計画的に事業を実施していくことができる。
②		
③		

施策評価結果(優先度)	優先度についての説明、所属長意見等
A	今後の観光振興の方向性や具体的施策を検討するものであり、優先度は高い。

議会質問状況	
--------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	川の手荒川まつり事業費	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	伊澤 敦
		担当者名	坂野竜二、日下正秀	内線	461
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	川の手荒川まつり事業費(54-85-30-01)				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	● 昭和 ○ 平成	62 年度	根拠法令等	川の手荒川まつり実行委員会設置要綱, 川の手荒川まつり実行委員会実施事業補助金交付要綱	
終期設定	○ 有 ● 無	年度			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 (非計画)
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化			
	政策	人が集う魅力あるまちづくり			
	施策	観光による地域活性化の推進			
目的	ふるさと荒川の郷土意識の高揚と、温かな地域社会づくりを目的とする。				
対象者等	区民・区内官公署・区内関係団体・姉妹友好交流都市他				
内容	<p>第19回川の手荒川まつり（平成17年4月29日）</p> <p>実施場所 南千住野球場・荒川総合スポーツセンター・瑞光小学校ほか</p> <p>(1) パレード 荒川1中→ジョイフル三ノ輪商店街→千住間道→南千住野球場</p> <p>(2) 商業祭の実施</p> <p>(3) ステージで音楽・舞踏・演劇等、姉妹・友好交流都市の特産品の紹介・販売</p> <p>第20回川の手荒川まつり</p> <p>①川の手荒川まつり記念シンポジウム（平成18年4月28日午後4時～）</p> <p>会場：日暮里サニーホール 内容：都市間交流の目指すもの</p> <p>基調講演：環境がとりもつ未来の地域 月尾嘉男氏（東京大学名誉教授）</p> <p>パネルディスカッション：住民どうしの交流と地域の活力</p> <p>②川の手荒川まつり（平成18年4月29日午前10時～午後4時）</p> <p>会場：南千住野球場（第1会場）、スポーツセンター（第2会場）、荒川工業高校校庭（第3会場）</p> <p>パレード：10団体（六瑞マーチングバンドほか） コース 一中→千住間道→会場</p> <p>ステージ：Aステージ13団体（青少年団体、キャラクターショーほか）、Bステージ8団体（ヘブンアーティスト、荒フィルほか）、Cステージ9団体（20回記念事業「郷土芸能の祭典」桑折町ほか）</p> <p>サブタイトル：「文化」、「交流」、「健康」、「環境」</p>				
経過	<p>昭和62年度から開始。商業祭と同時開催。</p> <p>主催…川の手荒川まつり実行委員会、荒川区 実行委員長は、8つの連会長会長が順番に就任</p> <p>会場…南千住野球場(11回)、東尾久運動場(3回)、荒川遊園(2回)、区役所前(1回)、旭電化跡地(1回)ほか</p> <p>平成18年1月11日開催の庁議において、18年度からの開催場所のルール化及び20回という節目にふさわしい企画を盛り込んだまつりとすることを報告し、了承された。</p> <p>開催会場のルール化 18年南千住野球場→19年東尾久運動場→20年荒川遊園運動場→21年汐入公園</p>				
必要性	荒川区におけるイベントで区内最大の集客力がある。また、観光資源として重要である。				
実施方法	<p>(直営) (一部委託) (全部委託) (直営の場合) (常勤) (非常勤) (臨時職員)</p> <p>川の手荒川まつり実行委員会と荒川区が事業を実施する。川の手荒川まつり実行委員会に対し区が補助金を交付している。また、実施にあたり区職員の協力体制をとっている。</p> <p>なお、会場設営・キャラクターショーなどを委託している。</p>				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
予算額	10,000	7,500	7,500	8,036	7,625	7,625	26,470	
①決算額(18年度は見込み)	7,616	7,500	7,446	7,325	7,552	7,583	26,470	
②人件費						8,857		
【事務分担量】(%)						110		
合計(①+②)	7,616	7,500	7,446	7,325	7,552	16,440	26,470	
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源	7,616	7,500	7,446	7,325	7,552	16,440	26,470	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	来場者(人)					100,000	40,000	60,000
	参加団体数					121	124	178

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		負担金補助及び交付金	川の手荒川まつり補助金	7,428	川の手荒川まつり補助金	7,500	川の手荒川まつり補助金
時間外勤務手当	時間外勤務手当	124	時間外勤務手当	125	時間外勤務手当	125	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値（22年度）	
①	来場者数	10万人	4万人	6万人	6万人	
②						
③						

問題点・課題	①若い世代のボランティアの活用や若い世代の考えを反映できる組織が必要である。
他区の実施状況	（実施 17 区 未実施 5 区）

問題点・課題の改善策検討		
①	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	現在すでに高校2校、中学1校の生徒にボランティア従事してもらっているが、さらに若い世代のボランティアを拡充する。	若い世代の考えを反映することができ、多くの人が参加する祭りとなる。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
A	毎年多くの区民が集まるイベントであり、コミュニティの活性化や区民相互親睦に大きく貢献している。また、観光振興にも大きな役割を果たしていることから、優先度は極めて高い。

議会質問状況（要旨）	15年3定 ファッションギャザリング廃止に伴う川の手荒川まつりへの働きかけについて
------------	-------------------------------------------